

区 分	高城科目ーキャリア教育科目	担当教員	高石 武史			
授業科目	一般数学					
英 訳	Citizen Mathematics					
配当年次	3年次 後期	必選別	選択	単位数	2単位	
<b>【授業の概要】</b>						
社会人として必要とされる数学の基礎的事項をSPI等の非言語での出題問題を参考に学ぶ授業となっている。広く復習し、会社等で求める数理能力について、各单元において問題の解き方を考えていく。						
<b>【授業の目的】</b>						
社会人として必要とされる数学の基礎事項を広く身につける。社会的及び職業的自立を図るために必要な計算力を診断し、不足している計算力を補うことを目指す。						
<b>【到達目標】</b>						
実社会での応用を想定したSPI等の各種計算問題を解けるようにする。						
<b>【準備学習(予習・復習)】</b>						
授業で学んだこと、解けなかった問題について必ず復習をする。						
<b>【授業計画】</b>						
第 1回 ガイダンス						
第 2回 仕事に現れる計算 (損益)						
第 3回 日常に現れる計算 (料金の割引)						
第 4回 仕事に現れる計算 (分割払いなど)						
第 5回 日常に現れる計算 (代金の清算)						
第 6回 日常に現れる計算 (速さ)						
第 7回 仕事に現れる計算 (表の読み取り)						
第 8回 仕事に現れる計算 (割合)						
第 9回 推論 (論理)						
第10回 推論 (順序づけ)						
第11回 組み合わせ						
第12回 確率						
第13回 グラフと領域						
第14回 復習						
第15回 全体のまとめ						
<b>【教科書】</b>						
授業の際に指定する。						
<b>【参考書】</b>						
授業において適宜指示する。						
<b>【成績評価基準】</b>						
振り返りテスト (60%)、まとめテスト (30%)、授業態度 (20%) で評価する。						
<b>【メッセージ】</b>						
実社会で算数や数学を使うことを想定した問題では、文章を理解して計算式を作れることが求められる。授業での計算は筆算だけで行い、電卓などは使用禁止としている。						

区 分	高城科目－キャリア教育科目	担当教員	竹元 雅彦、増野 洋子			
授業科目	キャリアデザイン I					
英 訳	Career Design I					
配当年次	3年次	前期	必選別	必修	単位数	2単位
<b>【授業の概要】</b> 「キャリアデザイン」とは、自分自身の大学生活や職業人生、キャリアについて、自らが主体となって構想し、実現していくことをいいます。本講座の「キャリアデザイン1」では、自分の夢を実現する為に、現状の自分の経験やスキルベースを再認識し、「ありたい将来像について」を考慮しながら、自らの持つ能力を活かすための「大学生活のキャリアデザイン」の形成を進めていきます。						
<b>【授業の目的】</b> ・自己を客観視する視点の養成・自己の内部にある資源に気付き、自己理解を深める。 ・自己理解から、大学生活の「キャリアデザインの構築」と「大学生活のキャリアデザイン」作成し、自分の「夢へのアプローチ」の土台作りを行います。						
<b>【到達目標】</b> ・自己を客観視する視点の養成・自己資源の再認識を行い、自己理解を深める。自己理解から、大学生活の「キャリアデザインの構築」と「大学生活のキャリアデザイン」作成を通して、自己実現を目指す。						
<b>【準備学習(予習・復習)】</b> ・前回の授業内容をよく理解しておくこと、不明点は質問すること ・テキスト、配付プリントを整理し内容を理解すること						
<b>【授業計画】</b> 第 1回 オリエンテーション キャリアデザインと大学生活 第 2回 自己のキャリアを考えると職業選択のステップ 第 3回 自己理解を深める 1 自己の経験と能力の棚卸①人生すごろく 第 4回 自己理解を深める 2 自己の経験と能力の棚卸②人生すごろく 第 5回 自己理解を深める 3 エゴグラムから見た自我 第 6回 自己理解を深める 4 キャリアアンカーとブランドハプンスタンス 第 7回 仕事理解 1 仕事理解と職業適性 第 8回 仕事理解 2 企業が求める人材像 (能力要件と職業能力開発) 第 9回 ビジネスコミュニケーション能力 第10回 キャリアビジョンを描く 1 成りたい姿 第11回 キャリアビジョンを描く 2 そのためにやるべきこと 第12回 キャリアビジョンのプレゼンテーション 第13回 キャリア開発計画書の作成 第14回 キャリア開発計画書発表 第15回 まとめ						
<b>【教科書】</b> プリント資料、ワークシートを配布します。						
<b>【参考書】</b> 授業中に紹介します。						
<b>【成績評価基準】</b> 課題 (ワークシート) の評価 (60%)、及びレポート (40%) の提出						
<b>【メッセージ】</b> 成りたい姿を具体的に描くことで、その実現方法を考える場です。自分のキャリアを考える＝苦痛ではなく、楽しみながら進みましょう。						

区 分	高城科目ーキャリア教育科目	担当教員	竹元 雅彦、増野 洋子			
授業科目	キャリアデザイン II					
英 訳	Career Design II					
配当年次	3年次 後期	必選別	必修	単位数	2単位	
<b>【授業の概要】</b>						
具体的な就職活動について考え、計画し、実行するプロセスを通じて、「成りたい自分」の実現を目指します。特に昨今注目されている「社会人基礎力」をモデルに捉え、そのスキルの開発を行います。						
<b>【授業の目的】</b>						
就職するために何ができていなければならないか、どのように就職活動を行い就職するのかについて、企業に対する理解と企業が求める人材像を踏まえて、自らのキャリアをデザインする。						
<b>【到達目標】</b>						
・自己を客観視する視点の養成・自己資源の再認識を行い、自己理解を深める。自己理解から、大学生活の「キャリアデザインの構築」と「大学生活のキャリアデザイン」作成を通して、自己実現を目指す。						
<b>【準備学習(予習・復習)】</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期のキャリアデザイン I 第3回・4回で作成した振り返りシートを持参すること。</li> <li>・前回の授業内容をよく理解しておくこと、不明点は質問すること</li> <li>・テキスト、配付プリントを整理し内容を理解すること</li> </ul>						
<b>【授業計画】</b>						
第 1 回 オリエンテーション キャリアデザインと就職活動						
第 2 回 就職環境の理解と企業の知識						
第 3 回 業界動向と会社選び						
第 4 回 企業研究と就職活動						
第 5 回 経験の棚卸 (自己の学生生活の資産の棚卸)						
第 6 回 エントリーシートの書き方 1						
第 7 回 エントリーシートの書き方 2						
第 8 回 ビジネスマナー 1						
第 9 回 ビジネスマナー 2						
第10回 選考の進み方と筆記試験						
第11回 面接対策 1 自分の価値観の発見						
第12回 面接対策 2 グループ討議						
第13回 個人面接演習						
第14回 個人面接FB						
第15回 まとめ						
<b>【教科書】</b>						
プリント資料、ワークシートを配布します。						
<b>【参考書】</b>						
授業中に紹介します。						
<b>【成績評価基準】</b>						
課題 (ワークシート) の評価 (60%)、及びレポート (40%) の提出						
<b>【メッセージ】</b>						
成りたい姿を具体的に描くことで、その実現方法を考える場です。自分のキャリアを考える=苦痛ではなく、楽しみながら進みましょう。						

区 分	高城科目－キャリア教育科目	担当教員	竹元 雅彦			
授業科目	インターンシップ I					
英 訳	Internship I					
配当年次	3年次 前期	必選別	選択	単位数	1単位	
<b>【授業の概要】</b>						
この授業では、企業等での実習（＝就業体験）を通じて、将来の進路や職業の選択に向けた就業観の養成を目的とします。企業への派遣にあたり、インターンシップの意義・目的についての理解を深めます。（インターンシップ実習は夏季休暇中）						
<b>【授業の目的】</b>						
インターンシップに参加することで、実際の仕事、「働くこと」への理解を深める						
<b>【到達目標】</b>						
インターンシップを通じて、就職活動に関する知識を高める。						
<b>【準備学習(予習・復習)】</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の授業内容をよく理解しておくこと、不明点は質問すること</li> <li>・テキスト、配付プリントを整理し内容を理解すること</li> </ul>						
<b>【授業計画】</b>						
第 1回 オリエンテーション インターンシップとは						
第 2回 働く意味と仕事（仕事・志事・私事）						
第 3回 企業の仕組みを知る						
第 4回 業界研究 1						
第 5回 業界研究 2						
第 6回 講和 「企業が求める人材」（地元企業 採用担当者）						
第 7回 ビジネスコミュニケーション ビジネスマナーの基本 1 あいさつ						
第 8回 ビジネスコミュニケーション ビジネスマナーの基本 2 電話対応・来客対応						
第 9回 ビジネスコミュニケーション ビジネスマナーの基本 3 報連相とPDCA						
第10回 ビジネスコミュニケーション ビジネス文章の基本						
第11回 実習希望先の選択						
第12回 実習希望先へのエントリー						
第13回 インターンシップ参加手続き						
第14回 レポート、日誌等の作成方法						
第15回 まとめ						
<b>【教科書】</b>						
プリント資料を配布する。						
<b>【参考書】</b>						
授業中に紹介する。						
<b>【成績評価基準】</b>						
インターンシップ希望先のエントリーシートの評価（60%）、課題レポート（40%）						
<b>【メッセージ】</b>						
就業体験を通して、就職後のキャリアを考える様々な情報を得ることを期待しています。						

区 分	高城科目ーキャリア教育科目	担当教員	竹元 雅彦			
授業科目	インターンシップ II					
英 訳	Internship II					
配当年次	3年次 後期	必選別	選択	単位数	1単位	
<b>【授業の概要】</b> 夏季休暇中のインターンシップの内容をまとめ、パワーポイントを使用して、プレゼンテーションを行う						
<b>【授業の目的】</b> インターンシップの受け入れ企業で就業体験を行い、働く上での様々な経験、知識を得る。受け入れ先企業とのマッチング成立が前提条件となります。						
<b>【到達目標】</b> ① インターンシップの体験を通して、企業での仕事の内容を理解する。 ② インターンシップの体験を通して、自己の働く上での課題を認識する。						
<b>【準備学習(予習・復習)】</b> インターンシップの体験を記録として、残しておくこと。全員が報告発表を行います。						
<b>【授業計画】</b> 第 1回 ガイダンス 第 2回 インターンシップ参加手続き 第 3回 時間管理と自己管理 報連相 第 4回 インターンシップ実習 1 第 5回 インターンシップ実習 2 第 6回 インターンシップ実習 3 第 7回 インターンシップ実習 4 第 8回 インターンシップ実習 5 第 9回 インターンシップ実習 6 第10回 インターンシップ実習 7 第11回 インターンシップ実習 8 第12回 インターンシップ実習 9 第13回 報告書の作成と提出 第14回 報告会の準備 第15回 報告会の実施						
<b>【教科書】</b>						
<b>【参考書】</b>						
<b>【成績評価基準】</b> 実習報告書の評価 (50%)、発表会でのプレゼンテーションの評価 (50%)						
<b>【メッセージ】</b> 就業体験を通して、就職後のキャリアを考える様々な情報を得ることを期待しています。						

区 分	高城科目ーキャリア教育科目	担当教員	橋元 純也		
授業科目	特別キャンパス活動 I				
英 訳	Special Activities on Campus I				
配当年次	1年次～3年次	必選別	選択	単位数	1～4 単位
<b>【授業の概要】</b> 活動責任者（本大学の教職員）の指導・監督のもと課外活動をおこない、その内容・活動時間に応じて単位が認定される。					
<b>【授業の目的】</b> ①本大学の教育理念「信和・協同・実践」を具現化するために、②スポーツ活動・芸術活動・ボランティア活動といった各種の課外活動を積極的にこなう学生を支援し、③自主性・コミュニケーション能力・企画力・リーダーシップなどを有して地域社会に貢献する人材を育成する。					
<b>【到達目標】</b> 本大学の教育理念「信和・協同・実践」に則した課外活動に積極的に取り組み、みずからの個性・持ち味に応じた能力を身につける。 ※科目「特別キャンパス活動」活動グループ自己評価表（下記URL参照） <a href="http://www.hkg.ac.jp/~hashimoto/blog/rubrics-saoc">http://www.hkg.ac.jp/~hashimoto/blog/rubrics-saoc</a>					
<b>【準備学習(予習・復習)】</b> 活動中およびその前後において、活動責任者との連絡を密にし、その指導・監督を仰ぐこと。					
<b>【授業計画】</b> 1. 「教育計画書」の提出 活動学生が単位取得を希望する場合、学生の自治組織である学友会所属のクラブ・サークルなどの団体、および学友会以外の自主的な活動団体・個人を指導・監督する活動責任者（本大学の教職員）に「教育計画書」の提出を求める。「教育計画書」には、活動グループ名・活動責任者名の他、活動の目的・活動期間・活動の概略・など必要事項を記載する。なお、活動内容等に大きな変更のあった場合は、教育計画書の再提出を求める。 2. 「活動認定書」他の提出 活動責任者が活動学生の単位認定を年度末に申請する場合、「活動認定書」の提出を求める。「活動認定書」には、活動によって得られた教育効果などを記載するとともに、活動学生の学生番号・氏名・活動の合計時間を記した「活動学生リスト」、本大学の教育理念「信和・協同・実践」に則した活動であることが確認できる「自己評価表」（上記 URL 参照）、および活動記録・写真・ブログ記事・報道資料といった「活動内容資料」を添付する。 3. 審査と単位認定 提出された「教育計画書」「活動認定書」および添付資料は、総合教育センター合同部会において審査し、活動時間・内容に応じて、活動学生ごとに単位を認定する。なお、科目担当者は、各活動責任者との連絡、提出書類のとりまとめ、単位認定の原案作成などを担当する。					
<b>【教科書】</b>					
<b>【参考書】</b>					
<b>【成績評価基準】</b> 成績評価は合否判定方式でおこなう。なお、合格の場合の取得単位数は、原則30時間の同一活動で1単位とし、半期2単位まで、合計4単位までの認定とする。					
<b>【メッセージ】</b> 単位認定時期は3年生後期ですが、集中講義扱いなので科目履修登録は3年生前期におこなってください。					

区 分	高城科目－キャリア教育科目	担当教員	橋元 純也		
授業科目	特別キャンパス活動Ⅱ				
英 訳	Special Activities on Campus Ⅱ				
配当年次	1年次～3年次	必選別	選択	単位数	1～4 単位
<b>【授業の概要】</b> 活動責任者（本大学の教職員）の指導・監督のもと課外活動をおこない、その内容・活動時間に応じて単位が認定される。なお、「特別キャンパス活動Ⅰ」における4単位取得者を本科目の単位認定対象とする。					
<b>【授業の目的】</b> ①本大学の教育理念「信和・協同・実践」を具現化するために、②スポーツ活動・芸術活動・ボランティア活動といった各種の課外活動を積極的にこなう学生を支援し、③自主性・コミュニケーション能力・企画力・リーダーシップなどを有して地域社会に貢献する人材を育成する。					
<b>【到達目標】</b> 本大学の教育理念「信和・協同・実践」に則した課外活動に積極的に取り組み、みずからの個性・持ち味に応じた能力を身につける。 ※科目「特別キャンパス活動」活動グループ自己評価表（下記URL参照） <a href="http://www.hkg.ac.jp/~hashimoto/blog/rubrics-saoc">http://www.hkg.ac.jp/~hashimoto/blog/rubrics-saoc</a>					
<b>【準備学習(予習・復習)】</b> 活動中およびその前後において、活動責任者との連絡を密にし、その指導・監督を仰ぐこと。					
<b>【授業計画】</b> 1. 「教育計画書」の提出 活動学生が単位取得を希望する場合、学生の自治組織である学友会所属のクラブ・サークルなどの団体、および学友会以外の自主的な活動団体・個人を指導・監督する活動責任者（本大学の教職員）に「教育計画書」の提出を求める。「教育計画書」には、活動グループ名・活動責任者名の他、活動の目的・活動期間・活動の概略・など必要事項を記載する。なお、活動内容等に大きな変更のあった場合は、教育計画書の再提出を求める。 2. 「活動認定書」他の提出 活動責任者が活動学生の単位認定を年度末に申請する場合、「活動認定書」の提出を求める。「活動認定書」には、活動によって得られた教育効果などを記載するとともに、活動学生の学生番号・氏名・活動の合計時間を記した「活動学生リスト」、本大学の教育理念「信和・協同・実践」に則した活動であることが確認できる「自己評価表」（上記 URL 参照）、および活動記録・写真・ブログ記事・報道資料といった「活動内容資料」を添付する。 3. 審査と単位認定 提出された「教育計画書」「活動認定書」および添付資料は、総合教育センター合同部会において審査し、活動時間・内容に応じて、活動学生ごとに単位を認定する。なお、科目担当者は、各活動責任者との連絡、提出書類のとりまとめ、単位認定の原案作成などを担当する。					
<b>【教科書】</b>					
<b>【参考書】</b>					
<b>【成績評価基準】</b> 成績評価は合否判定方式でおこなう。なお、合格の場合の取得単位数は、原則30時間の同一活動で1単位とし、半期2単位まで、合計4単位までの認定とする。					
<b>【メッセージ】</b> 単位認定時期は3年生後期ですが、集中講義扱いなので科目履修登録は3年生前期におこなってください。					